

青森県埋蔵文化財調査センター

# 要 覧

〔令和7年度の実績・令和8年度の計画〕



六ヶ所村弥栄平(1)遺跡 現地見学会 (令和7年9月27日)

令和8年度



# 目 次

青森県埋蔵文化財調査センター運営方針	1
--------------------	---

## 令和7年度の実績

1 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業	
（1）発掘調査事業	2
（2）整理・報告書刊行事業	3
2 出土品等の保存・再整理	
（1）保存処理	4
（2）収蔵品の再整理	7
3 発掘調査事業に係る情報発信	
（1）現地見学会	8
（2）発掘体験・遺跡見学	8
（3）速報展示	9
（4）講師派遣	9
（5）あおもり発掘フェア	9
4 センター収蔵資料の活用	
（1）主催事業	10
（2）依頼による活用事業	14
5 刊行物一覧	19

## 令和8年度の計画

1 組織・職員現員・業務	20
2 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業	
（1）発掘調査事業	21
（2）整理・報告書刊行事業	22
3 出土品等の保存・再整理	
（1）保存処理	23
（2）収蔵品の再整理	23
4 発掘調査事業に係る情報発信	
（1）現地見学会	24
（2）発掘体験・遺跡見学	24
（3）速報展示	24
（4）講師派遣	24
（5）あおもり発掘フェア	24
（6）所内展示	24

5	センター収蔵資料の活用	
(1)	主催事業	24
(2)	依頼による活用事業	25
6	令和8年度主要行事予定	26

**資 料**

1	図書を受入状況	27
2	文化財関係研修等への参加状況	27

**沿 革** . . . . . 30

**施設概要** . . . . . 32

## 青森県埋蔵文化財調査センター運営方針

青森県埋蔵文化財調査センターは、県内の埋蔵文化財の発掘調査を行い、調査で得られた出土文化財や記録類を県民共有の財産として適切に収蔵・保管するとともに、その有効活用を図り、もって県民の文化の振興に資するため、次の事業を実施します。

- ① 埋蔵文化財の発掘調査の企画及び実施
- ② 埋蔵文化財の研究及び発掘調査報告書の刊行
- ③ 出土品その他の資料の整理、保存及び活用
- ④ 埋蔵文化財の調査及び保存に関する研修等市町村の支援
- ⑤ 埋蔵文化財に関する情報の収集及び埋蔵文化財保護の啓発

## 【令和7年度の実績】

### 1 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業

開発事業により消滅する埋蔵文化財包蔵地を発掘調査し、記録保存のための報告書を作成・刊行する。

#### (1) 発掘調査事業

令和7年度は、6事業・6遺跡の発掘調査事業を行った。調査面積は15,100㎡、出土遺物箱数は段ボール箱811箱である。職員12名(延べ14名)が業務に従事した。

##### ア 原型炉基盤整備事業(六ヶ所村弥栄平(1)遺跡)

所在地 上北郡六ヶ所村大字尾駸字表館地内  
調査期間 令和7年5月8日(木)～令和7年11月28日(金)  
調査対象面積 8,800㎡  
委託者 新むつ小川原株式会社  
出土遺物 段ボール箱569箱

##### イ 弘前柏線中崎工区道路改築事業(弘前市野脇(1)遺跡)

所在地 弘前市大字中崎字野脇地内  
調査期間 令和7年5月8日(木)～令和7年11月7日(金)  
調査対象面積 1,800㎡  
委託者 青森県県土整備部(道路課)  
出土遺物 段ボール箱82箱

##### ウ 稲盛千代町山田線道路改築事業(つがる市吉田遺跡)

所在地 つがる市森田町字下相野吉田地内  
調査期間 令和7年5月8日(木)～令和7年10月31日(金)  
調査対象面積 2,000㎡  
委託者 青森県県土整備部(道路課)  
出土遺物 段ボール箱145箱

##### エ 名久井岳公園線道路改良事業(南部町法光寺遺跡)

所在地 三戸郡南部町大字法光寺字法光寺地内  
調査期間 令和7年9月16日(火)～令和7年10月31日(金)  
調査対象面積 900㎡  
委託者 青森県県土整備部(道路課)  
出土遺物 段ボール箱4箱

**オ 県営三戸地区中山間地域総合整備事業（三戸町駒木（2）遺跡）**

所在地 三戸郡三戸町大字梅内字駒木地内  
調査期間 令和7年6月3日（火）～令和7年8月15日（金）  
調査対象面積 700 m<sup>2</sup>  
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）  
出土遺物 段ボール箱 10 箱

**カ 県営野沢3期地区畑地帯総合整備事業（青森市樽沢村元（3）遺跡）**

所在地 青森市浪岡大字樽沢字村元地内  
調査期間 令和7年6月3日（火）～令和7年8月8日（金）  
調査対象面積 900 m<sup>2</sup>  
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）  
出土遺物 段ボール箱 1 箱

◇発掘調査実績

年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
事業数	6	5	5	5	6
遺跡数	6	7	5	6	6
調査面積（m <sup>2</sup> ）	12,200	25,930	8,020	16,200	15,100
出土遺物箱数	503	227	136	93	811

**（2）整理・報告書刊行事業**

令和7年度は、6事業・7遺跡の整理・報告書刊行事業を行った。刊行した発掘調査報告書は5冊・6遺跡、計998頁で、令和9年度以降の報告書刊行を予定し整理作業を行った遺跡は1遺跡、214頁相当である。

**ア 国道338号大湊Ⅱ期バイパス道路改築事業（川守町遺跡）**

所在地 むつ市川守町地内  
刊行頁数 136 頁  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

**イ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業（林ノ後遺跡、林尻遺跡）**

所在地 上北郡横浜町字林ノ後、字中椈名木、字林尻地内  
刊行頁数 80 頁  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

**ウ 稲盛千代町山田線道路改築事業（吉田遺跡）**

所在地 つがる市森田町字下相野吉田地内  
整理頁数 214 頁相当（令和9年度以降刊行予定）  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

## エ 内童子渡沢外通常砂防事業（大栗山遺跡）

所在地 東津軽郡平内町大字松野木字大栗山地内  
刊行頁数 40 頁  
委託者 青森県県土整備部（河川砂防課）

## オ 下北北部地区中山間地域総合整備事業（古釜谷平（2）遺跡）

所在地 下北郡風間浦村大字蛇浦字古釜谷平地内  
刊行頁数 110 頁  
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

## カ 新青森県総合運動公園整備事業（米山（2）遺跡）

所在地 青森市大字宮田字米山地内  
刊行頁数 632 頁  
委託者 青森県県土整備部（都市計画課）

### ◇報告書刊行・整理事業実績

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	
総事業数	7	6	6	5	6	
総遺跡数	7	5	8	5	7	
報 告 書 刊 行	遺跡数	6	3	5	4	6
	冊 数	6	4	4	4	5
	集番号	第 625 集～ 第 630 集	第 633 集～ 第 636 集	第 641 集～ 第 644 集	第 647 集～ 第 650 集	第 653 集～ 第 657 集
	総頁数	1, 142	432	1, 546	1, 134	998
整 理	遺跡数	1	2	3	1	1
	相当頁数	250	900	424	170	214

## 2 出土品等の保存・再整理

### （1）保存処理

発掘調査で出土した木製品や金属器等の脆弱な出土品は、そのまま空气中に保管すると乾燥による収縮、ひび割れ、酸化や錆等の劣化が進行するため、出土時の形状や状態を保つための保存処理が必要である。当センターでは、平成 10 年度に保存処理のための機器を導入して、出土品の保存処理を実施している。

#### ア センター内部での保存処理

令和 7 年度は、発掘調査報告書掲載出土品や非掲載出土品について、刊行時に保存処理を行わなかったものの保存処理を実施した。

◇令和7年度の実績

第 60 集	五輪堂遺跡出土銅製品	35 点	BTA 安定化处理
第 331 集	清水遺跡出土銅製品	1 点	BTA 安定化处理
第 547 集	蔵主町遺跡出土銅製品	6 点	BTA 安定化处理
第 173 集	水木館遺跡出土木製品	16 点	真空凍結乾燥処理
第 207 集	実吉遺跡出土木製品	19 点	真空凍結乾燥処理
第 277 集	野尻（1）遺跡Ⅲ出土木製品	3 点	真空凍結乾燥処理
第 434 集	三内遺跡出土木製品	13 点	真空凍結乾燥処理
第 526 集	十三盛遺跡出土木製品	25 点	真空凍結乾燥処理
第 613 集	米山（2）遺跡出土木製品	61 点	PEG 含浸処理開始

◇過年度の保存処理実績

木製品

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
点 数	35	0	17	47	137

※4年度は機器の不調のため処理業務稼働せず

金属器

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
点 数	0	0	4	120	42

※3年度～4年度は機器の不調のため処理業務稼働せず

**イ 委託による再保存処理**

当センター収蔵の木製品や金属器のうち、報告書刊行後に経年劣化がみられるものについて、委託により再保存処理を行った。平成29年度から文化庁の国庫補助事業を活用し実施している。

◇令和7年度の実績

第 415 集 八戸市林ノ前遺跡出土鉄製品 2 点  
内訳：鋏先・鋤先 1 点、鉄鏃 1 点

◇再保存処理の実績

種別\年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
木製品	0	0	0	0	0
鉄製品	3	4	5	1	2
銅製品	0	0	0	0	0
合計	3	4	5	1	2

## ウ X線透過撮影装置の使用

出土品の保存処理前に、内部構造や劣化状態を把握するため、X線透過撮影装置による撮影を行うものである。令和7年度の実績は以下のとおり。

◇令和7年度の実績（※は外部からの依頼による。）

第35集 つがる市石上神社遺跡 銅製品6点

第60集 平川市五輪堂遺跡 銅製品35点

第331集 つがる市清水遺跡 銅製品1点、鉄製品1点

未報告 南部町法光寺遺跡 銅製品（古銭、差し銭）2点

※ 十和田市十和田湖占場湖底遺跡 銅製品（古銭、差し銭）215点

◇X線透過撮影装置の実績

種別\年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
木製品	0	0	5	0	0
金属器	0	0	61	148	260
土製品	0	0	1	8	0
土器	0	0	2	0	0
合計	0	0	72	156	260

※3年度～4年度は機器の不調のため撮影実績なし

## エ 赤外線撮影装置の使用

主に土器や木製品の表面に描かれた墨書を確認するために使用するもの。

◇令和7年度の実績

第613集 つがる市久米川遺跡出土土器24カット

未報告 つがる市吉田遺跡出土木製品2,648カット

◇赤外線撮影装置の使用実績

種別\年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
木製品	0	0	1	5	2,648
土器	0	0	4	0	24
土偶	0	0	1	1	0
合計	0	0	6	6	2,672

※3年度～4年度は機器の不調のため撮影実績なし

## (2) 収蔵品の再整理

既に報告書が刊行されている遺跡の出土品について適切な収蔵・保存状態を維持するため、センターが定めた収蔵保管に係るマニュアルに則して出土品の状態や収納状況を確認するための再整理業務を令和5年度から実施している。その過程で、今日的な視点から資料の見直しを行い、学術的に希少・重要な出土品を抽出し、これらの報告や公開も行う。市町村への譲与や、資料の公開・活用などの要望が寄せられた遺跡を優先的に再整理を行っている。

令和7年度は、第25集外ヶ浜町中ノ平遺跡出土品の再整理に加えて、これまでにつがる市管内の遺跡で実施した発掘調査資料の再整理を行った。

### ア 外ヶ浜町中ノ平遺跡出土品

第25集外ヶ浜町中ノ平遺跡出土品の再整理では、掲載出土品の確認や、ラベル書き換え等の収納作業などを行った。また、あおり発掘フェア2025において、再整理した出土品や調査写真等を展示した。

### イ つがる市管内の遺跡

これまでにつがる市管内で実施した発掘調査の報告書6冊分、6遺跡を対象として、出土品及び記録類の再整理を行った。

出土品については、報告書掲載出土品及び非掲載出土品合わせて103箱について、内容を確認し、収納を見直した後に一覧表を作成した。確認作業では、主に非掲載出土品について箱や袋の中身の一覧と、各袋の中身の写真を撮影することで、今後の活用に応じ得る収納状況とした。

記録類については、カラースライド、白黒、大判などの写真類のアルバム67冊、調査図面10冊、デジタルデータ14枚などを確認し、カラースライドと調査図面についてはデジタル化を行い、台帳を整備した。

#### ◇再整理業務実績

年 度	5 年度	6 年度	7 年度	
対象報告書数	2	9	7	
対 象 遺 跡 名	中ノ平遺跡	・中ノ平遺跡 ・浜通遺跡ほか	①中ノ平遺跡（収納作業のみ） ②亀ヶ岡遺跡ほか	
対 象 遺 跡 数	1	54	①1、②6	
出 土 品	作業箱数	321 箱	56 箱	①365 箱 ②103 箱
記 録 類	写真類	—	67 冊	①作業なし ②21 冊
	図面類	—	10 冊	①作業なし ②4 冊
特 記 事 項			中ノ平遺跡出土品等をあおり発掘フェアで展示	中ノ平遺跡出土品等をあおり発掘フェアで展示

### 3 発掘調査事業に係る情報発信

#### (1) 現地見学会

埋蔵文化財発掘調査によって得られた成果を県民等に公開し、地域史への理解を深めてもらうとともに事業の周知を図った。

遺跡名	開催日	参加者数
弥栄平（1）遺跡	令和7年9月27日（土）	87人

#### ◇開催実績

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催遺跡数	1	1	3	3	1
参加者数	70人	72人	212人	163人	87人

#### (2) 発掘体験・遺跡見学

遺跡の発掘体験及び見学を通じて郷土の歴史を学び、埋蔵文化財への興味・関心を深めてもらうため実施した。

##### ア 発掘体験

団体名	遺跡名	開催日	参加者数
つがる市立森田小学校	吉田遺跡	令和7年6月19日（木）	26人
つがる市立柏小学校	吉田遺跡	令和7年7月3日（木）	40人
つがる市立瑞穂小学校	吉田遺跡	令和7年7月9日（水）	22人

##### イ 遺跡見学

団体名	遺跡名	開催日	参加者数
新むつ小川原株式会社、国土交通省ほか	弥栄平（1）遺跡	令和7年7月18日（金）	16人
新むつ小川原株式会社	弥栄平（1）遺跡	令和7年7月24日（木）	6人
（公財）環境科学技術研究所	弥栄平（1）遺跡	令和7年7月30日（水）	3人
（一財）六ヶ所村文化振興公社	弥栄平（1）遺跡	令和7年8月4日（月）	12人
平内町教育委員会	弥栄平（1）遺跡	令和7年8月27日（水）	4人
（国研）量子科学技術研究開発機構 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所	弥栄平（1）遺跡	令和7年9月10日（水）	19人

### (3) 速報展示

発掘調査成果を速報として周知するため、遺跡周辺の公共施設等において、調査期間中を中心に出土品の展示及びパネル展示を実施した。

遺跡名	場 所	期 間
弥栄平（1）遺跡	六ヶ所村立郷土館、ショッピングモールリーブ	令和7年5月～12月
野脇（1）遺跡	弘前市三省地区交流センター	令和7年9月～10月
法光寺遺跡	南部町役場	令和7年10月～12月
吉田遺跡	つがる市縄文住居展示資料館 カルコ	令和7年9月～10月 ※令和6年度調査成果の速報

### (4) 講師派遣

主に市町村が主催する講座等に講師を派遣し、当該市町村における最新の発掘調査成果等を受講者に分かりやすく伝えた。

講座名	内 容	開催日	参加者数
NPO法人つがる縄文の会研修会	つがる市吉田遺跡の発掘調査成果報告	令和7年11月14日（土）	70人

### (5) あおもり発掘フェア（旧青森県埋蔵文化財発掘調査報告会）

当年度に青森県内で行われた埋蔵文化財発掘調査の成果及び埋蔵文化財の活用に関する事例を広く県民に公開し、青森県の歴史と埋蔵文化財の保護・活用について理解を深めてもらうことを目的に開催している。

平成2年度に開催した「青森県埋蔵文化財発掘報告会」を平成3年度に「青森県埋蔵文化財発掘調査報告会」と改称し、それ以降毎年開催していたが、令和5年度からは体験学習と活用事業に関する展示を加えた「あおもり発掘フェア」として開催している。

フェアでは、県、県内市町村及び大学が今年度を含む近年に行った発掘調査について、紙上報告を含めた11遺跡の成果を速報した。来場者にはレジュメを配布した（2025分未公開 PDF データは当センターホームページで公開中）。スライドショーによる成果発表は12月20日（土）に大研修室で開催した。出土品・パネル展示は、12月20日（土）・21日（日）に第1研修室で行い、出土品234点と写真パネルを展示した。体験学習会は12月21日（日）に大研修室で行った。また、県立図書館では、連携展示として「掘りも掘ったり45年」を開催し、センターの発掘調査等についてパネル展示とともに関連図書の紹介を行った。なお、フェアの参加者数は、直近の単独開催であった令和5年度とほぼ同程度であった。

開催日 令和7年12月20日（土）・21日（日）  
場 所 青森県総合社会教育センター（青森市）  
参加者数 213人

## 実施内容

- 発掘調査成果報告（スライドによる成果発表）及び出土品・パネル展示
  - 弘前市野脇（1）遺跡（当センター）
  - 弘前市史跡津軽氏城跡弘前城跡（弘前市都市整備部公園緑地課）
  - 三戸町駒木（2）遺跡（当センター）
  - 六ヶ所村弥栄平（1）遺跡（当センター）
  - 東北町長者久保遺跡（東京大学）
  - 八戸市松ヶ崎遺跡（八戸市教育委員会）
  - 南部町相内野牧跡（東北学院大学）
  - 南部町法光寺遺跡（当センター）
  - つがる市吉田遺跡（当センター）
  - 青森市樽沢村元（3）遺跡（当センター）※紙上発表のみ
  - 十和田湖占場湖底遺跡（十和田市教育委員会）※紙上発表のみ
  - 当センターの普及・活用に関する取組 ※スライド映写のみ

## ○体験学習会

- ① J O M O N 缶バッジ作り（土器の模様を写し取った紙で缶バッジを作る体験）
- ② 「本物の土器や石器にさわろう」（縄文土器や石器、土師器坏や甕を見学者が自由に触る体験）
- ③ 弓矢体験（複製の弓で矢を飛ばす体験）
- ④ 「銚突き体験」（海獣が描かれた段ボール製の的を離頭銚で突く体験）

## ◇開催実績

年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
参加者数（人）	※1	195	206	388 <sup>※2</sup>	213
報告遺跡（件）	7	15	12	11	11
出土品展示数（点）	展示なし	526	535	221	234

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料配布とオンライン配信のみ

※2 「地元の縄文」再発見フェア in とうせいと同時開催

## 4 センター収蔵資料の活用

### （1）主催事業

#### ア 夏休みに考古学者になろう

郷土の歴史に親しみながら埋蔵文化財保護の意識を高めることを目的に、児童・生徒が実際の発掘調査や整理作業を体験するイベント。平成14年度から実施し、令和7年度で第22回となった。

#### （ア）発掘体験（7月30日）

会場：六ヶ所村弥栄平（1）遺跡

内容：遺物包含層の掘削と遺物の観察、写真撮影など

参加者数：児童生徒14人、保護者8人、計22人

### (イ) 研究体験（8月16日）

会場：青森県埋蔵文化財調査センター

内容：埋蔵文化財調査センターの概要説明、施設見学、土器の接合、拓本、実測図作成と遺物の観察

参加者数：児童生徒 14 人、保護者 7 人、計 21 人



#### ◇開催実績

年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
発掘体験	八戸市 北熊ノ沢（2）遺跡・ 毛合清水（3）遺跡	青森市 米山（2）遺跡	つがる市 吉田遺跡	六ヶ所村 弥栄平（1）遺跡
参加者数	児童生徒 12 人 保護者 9 人 計 21 人	児童生徒 12 人 保護者 6 人 計 18 人	児童生徒 12 人 保護者 9 人 計 21 人	児童生徒 14 人 保護者 8 人 計 22 人
整理体験	YS アリーナ八戸	当センター	当センター	当センター
参加者数	児童生徒 11 人 保護者 7 人 計 18 人	児童生徒 12 人 保護者 6 人 計 18 人	児童生徒 4 人 保護者 4 人 計 8 人	児童生徒 14 人 保護者 7 人 計 21 人

※3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### イ 公開講座「地下からよみがえる地元の歴史」（令和7年度新規）

中学生以上を対象とした、当センター職員による公開講座を新たに実施した。令和7年度は8月から11月にかけて4回実施した。

- ①日時と発表者 第1回 8月24日（日）13:00～15:00 岡本 洋  
第2回 9月7日（日）13:00～15:00 木村 高  
第3回 10月5日（日）13:00～15:00 齋藤 正  
第4回 11月9日（日）13:00～15:00 岩田 安之
- ②演 題 第1回「青森県の旧石器～縄文時代～発掘された2万年～」  
第2回「青森県の弥生～平安時代～卑弥呼～法隆寺～紫式部～奥州平泉の頃～」  
第3回「青森県の鎌倉～室町時代～発掘で見てきた中世の社会～」  
第4回「青森県の安土桃山～江戸時代～近世社会の多様な物質文化～」

③場 所 青森県埋蔵文化財調査センター

④参加者 第1回 47人、第2回 45人、第3回 35人、第4回 34人

## ウ 見学等

### (ア) 展示見学

青森県の歴史や埋蔵文化財の保存・活用について理解を深めてもらうため、発掘調査成果及び出土品を所内で展示・公開している。平日9時から16時まで自由に見学可能（年末年始及び年度末から年度始めの2週間は見学不可）。

正面玄関ホールでは、令和元年度から継続して五所川原産須恵器大甕3点（山元（3）遺跡、野尻（2）遺跡出土）及び前々年度に刊行した発掘調査報告書に掲載している出土品等を中心に展示している。

#### ◇所内展示実績

年 度	概 要
7年度	・「ミニ常設展」として縄文時代から平安時代までの出土品を展示（縄文時代の土偶等26点、津軽地域の土師器坏21点） ・パネル展示：令和6年度の展示を継続
6年度	・「ミニ常設展」として縄文時代から平安時代の出土品を展示（縄文時代の土偶等46点、津軽地域の土師器坏21点） ・パネル展示：令和5年度に当センターが行った発掘調査成果の紹介（「あおもり発掘フェア2023」レジュメより）、むつ市酪農（3）遺跡の解説や大型の土偶写真（小川忠博氏撮影）、東北自動車道建設に伴う発掘調査の空中写真（大平遺跡、砂沢平遺跡、古館遺跡、大面遺跡、永野遺跡）、「地元の縄文」再発見プロジェクトの紹介
5年度	・「ミニ常設展」として特定のテーマを設けず縄文時代から平安時代の珍しい出土品を34点展示 ・パネル展示：むつ市酪農（3）遺跡の解説や大型の土偶写真（小川忠博氏撮影）、東北自動車道建設に伴う発掘調査の空中写真（大平遺跡、砂沢平遺跡、古館遺跡、大面遺跡、永野遺跡）、「地元の縄文」再発見プロジェクトの紹介
4年度	「新収蔵展」として令和2年度に報告書を刊行した猪ノ鼻（1）・（2）遺跡、林ノ脇遺跡、古野（2）遺跡の出土品のほか、水上（2）遺跡出土土偶や二股（2）遺跡、山田（2）遺跡、涌館遺跡、熊ヶ平遺跡、沢ノ黒遺跡出土の玦状耳飾を展示
3年度	「新収蔵展」として令和元年度に報告書を刊行した後平（1）・（4）遺跡、長谷川遺跡、銅屋（1）遺跡、古野（3）遺跡、館遺跡、西張（3）遺跡、米山（2）遺跡の出土品を展示

◇一般見学者数実績（単位：人）

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
見学者数	10	30	74	69	17

### （イ）施設見学

学校などの団体を対象とした施設見学を受け入れている。内容は当センターの施設や業務について職員が解説・紹介するもので、概ね小学校高学年以上が対象。平日のみ対応し、事前申込が必要。

◇年度別施設見学者数及び参加者数（単位：件、人）

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
件 数	1	2	2	1	1
参加者数	17	38	56	10	20

### （ウ）蔵書閲覧

当センターの蔵書を閲覧できるサービス。平日のみ対応し、事前申込が必要。

◇蔵書閲覧の実績（閲覧者数の単位：件）

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
件 数	0	3	2	1	4

### （エ）教材「あおもり縄文遺物セット」の貸出

令和4～6年度に実施した重点事業「地元の縄文」再発見プロジェクト事業により制作し、県内の市町村教育委員会に配布した、さわれる実物教材「あおもり縄文遺物セット」の活用状況調査及び活用促進を行った。また、県立特別支援学校への貸出を行った。

◇教材の活用状況（学校・公民館等への貸出件数、単位：件）

地域等	5 年度	6 年度	7 年度
東青地域	—	—	13
西北地域	—	9	3
中南地域	2	5	2
上北地域	—	—	14
下北地域	2	4	1
三八地域	—	3	6
県立特別支援学校	—	1	5

※令和5年度は中南・下北地域に、令和6年度は三八・西北地域に、令和7年度は東青・上北地域に配布した。

## (2) 依頼による活用事業

### ア 生涯学習フェア

当センターの教材を利用した体験活動等を実施し、地域の歴史と文化財保護について理解を深める機会とする。

主催・会場 青森県総合社会教育センター（3Fエレベーター前ホール）

日時 令和7年9月27日（土）9:00～16:00

出展内容 「ほんものの縄文土器にふれよう」

① 当センターが発掘した遺物を用いて、縄文土器や石器に触れるハンズオン体験

② 縄文土器の模様を色鉛筆で写し取ったものをバッジにするJOMON缶バッジ体験

参加者数 50人

### ◇開催実績

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催日	※	10月1日	10月7日	10月5日	9月27日
参加者数		参加せず	138人	85人	50人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず

### イ 出張展示・連携展示

当センター以外の場所で所蔵品を展示する事業。市町村主催の短期イベントで地域ゆかりの出土品を展示する出張展示と、県内の市町村教育委員会と連携して、一定期間の展示を行う連携展示がある。令和7年度は以下のとおり実施した。

#### (ア) 出張展示

第47回階上町民文化祭

会場 階上町町民体育館

日時 令和7年11月1日（土）～11月2日（日）9:00～15:30

展示内容 当センターが所蔵する階上町内出土遺物と遺跡パネルを展示

来場者数 約2,000人

※展示期間の来館者数



◇開催実績

年 度	3・4年度	5年度	6年度	7年度
開催地	実績なし	①七戸町 ②横浜町 ③西目屋村 ④西目屋村	①西目屋村 ②横浜町 ③西目屋村	階上町
開催日		①7月2日 ②10月28・29日 ③11月19日 ④2月18日	①4月27日 ～5月6日 ②10月26・27日 ③11月17日	11月1日 ～11月2日
参加者数		①134人 ②156人 ③320人 ④596人	①2,867人 ②170人 ③約300人	約2,000人

(イ) 連携展示

①西目屋村中央公民館での連携展示

会 場 西目屋村中央公民館

日 時 令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）

展示内容 津軽ダム建設に伴う縄文時代の出土品及び解説パネルを展示

②青森県立図書館での連携展示

「掘りも掘ったり45年～郷土の遺跡と埋蔵文化財調査センター～」

会 場 青森県立図書館

日 時 令和7年12月4日（木）～令和7年12月24日（水）

展示内容 当センターが行ってきた発掘調査で得られた成果等について出土品と解説パネルを展示

◇開催実績

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催地	実績なし	実績なし	実績なし	西目屋村 中央公民館	①西目屋村中 央公民館 ②県立図書館
期 間				11月18日 ～3月31日	①4月1日 ～3月31日 ②12月4日 ～12月24日

ウ 講師派遣等

埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座や学校等にセンター職員を派遣し、埋蔵文化財に対する県民の理解を深め、埋蔵文化財保護意識を醸成するとともに、学校支援により郷土の文化への愛着や理解を深める。

◇令和7年度の派遣概要

依頼による講師派遣（県内）

派遣先	日時	講演テーマ	参加者数
弘前市立藤代公民館 (県出前トーク)	5月24日(土) 10:00～11:30	意外にあるある、地元の遺跡！～津軽地方と藤代地域～	16人
今別町中央公民館 (今別町公民館歴史講座)	7月10日(木) 17:00～18:00	今別町指定遺跡「大開城跡」	13人
大鰐町中央公民館 (県出前トーク)	7月16日(土) 13:30～15:00	意外にあるある、地元の遺跡！～地下からわかった大鰐の歴史～	19人
青森市中央市民センター (青森市中央市民センター講座)	7月28日(月) 10:00～12:00	青森市の弥生～室町時代	29人
青森市中央市民センター (みちのく青年教室)	8月26日(火) 19:00～21:00	土の中から出てきた歴史	8人
青森市油川市民センター (青森市油川市民センター講座)	9月26日(金) 10:00～12:00	発掘調査成果からわかった大昔の衣類や装飾品	7人
今別町中央公民館 (今別町公民館歴史講座)	10月17日(金) 17:00～18:00	縄文時代の今別地域	14人
青森市東部市民センター (青森市東部市民センター講座)	10月22日(水) 10:00～11:30	発掘調査からわかった青森市宮田地区の歴史	17人
当センター (青森市西部市民センター講座)	10月29日(水) 10:00～12:00	埋蔵文化財調査センターへ行って出土品を見てみよう！	20人
青森市東部市民センター (青森市東部市民センター講座)	10月29日(水) 10:00～11:30	縄文人と石器	11人
青森市中央市民センター (青森市中央市民センター講座)	11月18日(火) 10:00～12:00	国土開発と青森県の遺跡～こんなところを掘りました～	17人

依頼による講師派遣（県外）

派遣先	日時	講演テーマ	参加者数
北海道立埋蔵文化財センター (令和7年度考古学講座)	9月27日(土) 13:30～15:30	墓制からみた古代の東北・北海道	53人

共催事業での講演

派遣先	日時	講演テーマ	参加者数
東通村歴史民俗資料館 (特別展示「東通村の遺跡」)	11月22日(土) 13:00～15:00	小田野沢・老部・白糠の遺跡	33人

## 学校支援

派遣先	日 時	講演テーマ	参加者数
七戸町立天間林小学校 (青森県教育支援プラットフォーム)	11月21日(金) 13:40～15:30	夢わくわく講座	38人
青森市立浪打小学校 (青森県教育支援プラットフォーム)	11月26日(水) 13:30～15:05	ドリカムプロジェクト ～考えようこれからの自分～	20人
青森山田高等学校	2月12日(木) 14:20～15:00	縄文時代の石器作り体験	27人

### ◇講師派遣実績(単位:件、人)

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件 数	0	5	5	13	16
参加者数(約)	0	230	160	245	342

## エ 写真資料の掲載許可

発掘調査及び報告書刊行に伴い当センターが撮影した写真資料について、書籍等への掲載依頼に応じ掲載を許可するもの。

### ◇写真資料掲載許可件数(件)

使用目的\年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
展示等	6	3	12	6	7
動画・書籍	27	23	14	12	12
論文等	1	2	2	2	2

## オ 収蔵品の貸出し

収蔵品を外部からの依頼に応じて貸し出し、公開・活用に供するもの。主に博物館等での展示のほか、研究目的での貸出しも増加傾向にある。

令和7年度は20件、250点の収蔵品を貸し出した。

◇令和7年度の貸出し実績

	貸出先	内 容	目 的
①	つがる市教育委員会	中ノ平遺跡出土土器等 5点	つがる市縄文住居展示資料館（カルコ）常設展示資料
②	七戸町教育委員会	二ツ森貝塚出土鹿角製櫛 （県重宝）等 6点	二ツ森貝塚館常設及び企画展示資料
③	弘前市立博物館	境関館遺跡出土品 6点	弘前市立博物館常設展示資料
④	五戸町教育委員会	西張平遺跡出土品 58点	ごのへ郷土館常設展示資料
⑤	おいらせ町教育委員会	中野平遺跡出土品 2点	おいらせ阿光坊古墳館常設展示資料
⑥	青森山田中学校	縄文土器 10点	中学校美術科授業の教材
⑦	青森山田中学校	縄文土器 10点	中学校美術科授業の教材
⑧	三内丸山遺跡センター	川原平（1）遺跡ほか出土品 138点	特別展「縄文時代のおわり」展示資料
⑨	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	鴨平（1）遺跡出土品 11点	企画展「その土器は三角形」展示資料
⑩	六ヶ所村立郷土館	表館（1）遺跡出土品 1点	企画展「有戸の牧はあったのか」展示資料
⑪	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	近野遺跡ほか出土品 27点	企画展「一合掌土偶国宝指定15周年記念一合掌土偶ができたころ」展示資料
⑫	研究者	堀端（1）遺跡出土品	出土品の分析
⑬	研究者	鳥舌内館出土品	出土品の分析
⑭	研究者	鉢森平（7）遺跡出土品	出土品の分析
⑮	研究者	舟場向川久保（2）遺跡出土品 124点	出土品の分析
⑯	平内町立東小学校	縄文土器等	小学校社会科授業の教材
⑰	三内丸山遺跡センター	熊ヶ平遺跡出土食品炭化物 2点	企画展「衣食住から探る縄文人の暮らし」展示資料
⑱	研究者	鉢森平（7）遺跡出土品	出土品の分析

	貸出先	内 容	目 的
⑰	三内丸山遺跡センター	内田（２）遺跡ほか出土品 35点	特別展「縄文時代のはじまり」展示資料
⑱	研究者	掘端（１）遺跡出土品	出土品の分析

◇年度別貸出し実績

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件 数	13	16	16	20	20
点 数	396	905	599	730	250

**キ 資料調査**

資料借受けに先立つ事前調査や研究目的での調査を受け入れている。  
令和7年度は13件、637点の依頼に対応した。

◇資料調査の対応実績

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件 数	20	28	13	28	13
点 数	1,059	3,235	3,235	2,230	637

**5 刊行物一覧**

- ① 川守町遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第653集
- ② 林ノ後遺跡Ⅱ・林尻遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第654集
- ③ 大栗山遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第655集
- ④ 古釜谷平（２）遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第656集
- ⑤ 米山（２）遺跡Ⅹ 青森県埋蔵文化財調査報告書第657集
- ⑥ 研究紀要第31号

※①～⑥については、PDFデータを全国遺跡報告総覧に登載した。

当センターがこれまでに刊行した発掘調査報告書及び研究紀要の登載先URL

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

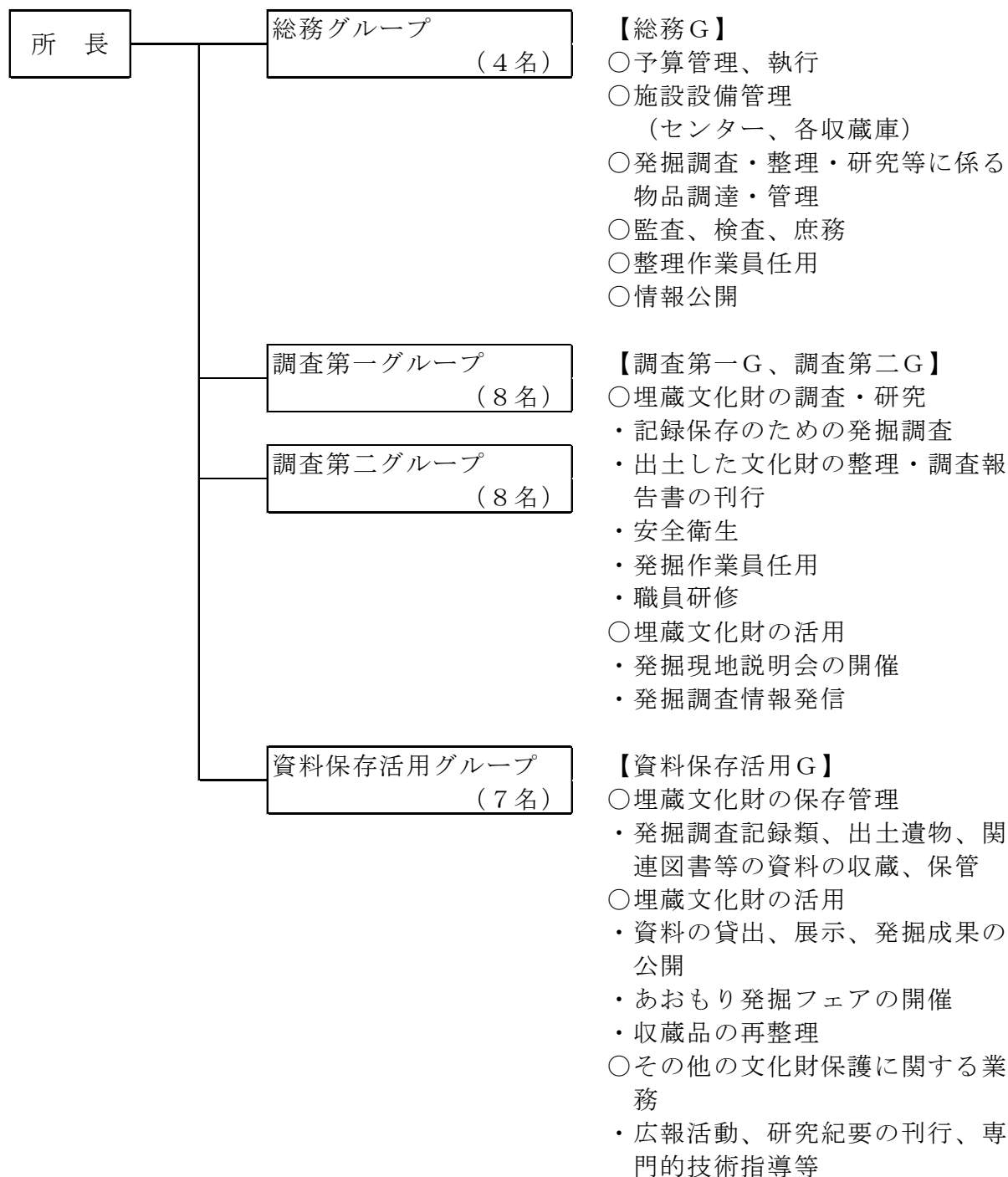
◇報告書刊行実績は、本要覧3～4ページを参照のこと。

◇研究紀要刊行実績

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
号 数	27	28	29	30	31
総頁数	90	127	92	84	64

# 【令和 8 年度の計画】

## 1 組織・職員現員・業務



## 2 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業

開発事業により消滅する埋蔵文化財包蔵地を発掘調査し、記録保存のための報告書を作成・刊行する。

### (1) 発掘調査事業

令和8年度は、5事業・5遺跡（調査予定面積15,900㎡）の発掘調査を行う予定である。

#### ア 原型炉基盤整備事業（六ヶ所村弥栄平（1）遺跡）

所在地 上北郡六ヶ所村尾駸字表館地内  
調査期間 令和8年5月12日（火）～令和8年11月11日（水）  
調査対象面積 4,000㎡  
委託者 新むつ小川原株式会社

#### イ 国道338号大湊Ⅱ期バイパス道路改築事業（むつ市大湊大沢遺跡）

所在地 むつ市大字大湊地内  
調査期間 令和8年5月13日（水）～令和8年10月30日（金）  
調査対象面積 3,200㎡  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

#### ウ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業（横浜町鶏ヶ唄遺跡）

所在地 上北郡横浜町字鶏ヶ唄地内  
調査期間 令和8年5月12日（火）～令和8年7月17日（金）  
調査対象面積 3,600㎡  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

#### エ 稲盛千代町山田線道路改築事業（つがる市吉田遺跡）

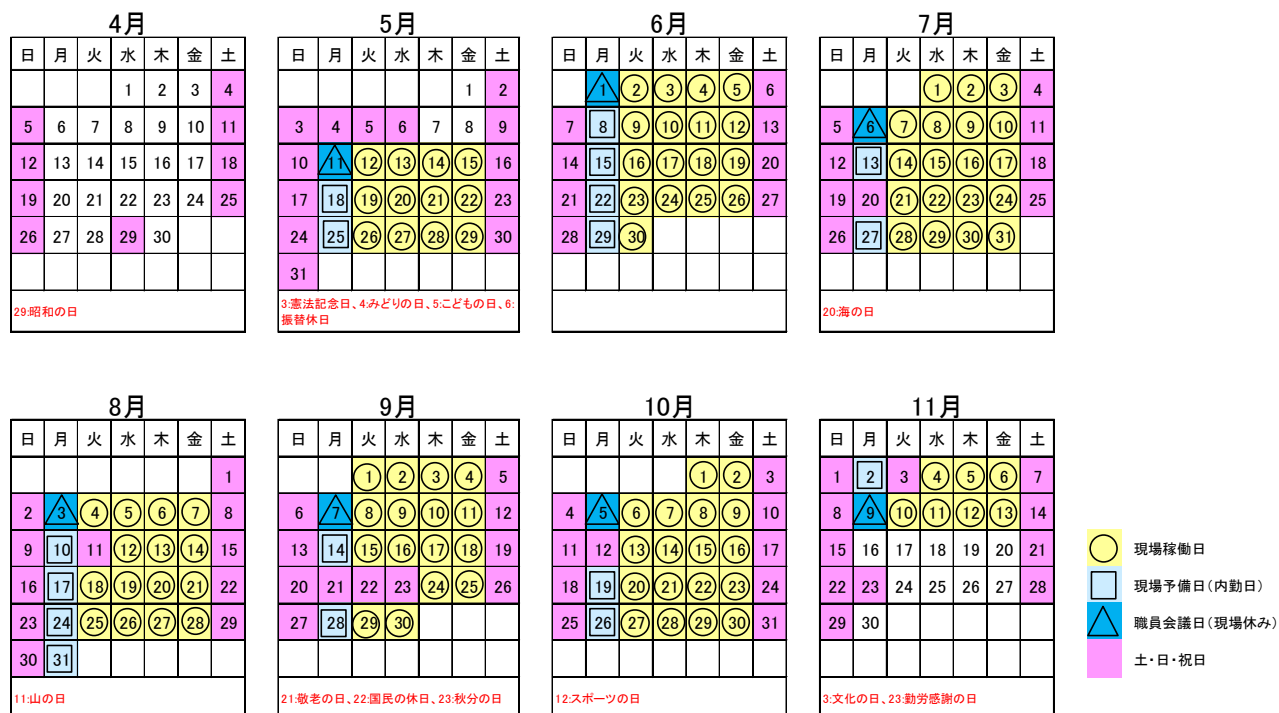
所在地 つがる市森田町下相野吉田地内  
調査期間 令和8年8月4日（火）～令和8年11月13日（金）  
調査対象面積 4,000㎡  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

#### オ 県営鬼沢地区通作条件整備事業（弘前市鬼沢猿沢（6）遺跡）

所在地 弘前市大字鬼沢地内  
調査期間 令和8年6月2日（火）～令和8年8月28日（金）  
調査対象面積 1,100㎡  
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

遺跡名	調査予定期間	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
弥栄平（1）遺跡	5月12日～11月11日	—————						
大湊大沢遺跡	5月13日～10月30日	—————						
鶏ヶ唄遺跡	5月12日～7月17日	—————						
吉田遺跡	8月4日～11月13日	—————						
鬼沢猿沢（6）遺跡	6月2日～8月28日	—————						

### 令和8年度 発掘カレンダー



## （2）整理・報告書刊行事業

令和8年度は、4事業・4遺跡に係る発掘調査報告書4冊（合計542頁）の刊行と2遺跡の整理作業（計730頁相当）を行う予定である。

### ア 原型炉基盤整備事業（弥栄平（1）遺跡）

所在地 上北郡六ヶ所村尾駱字表館地内  
 整理頁数 500頁相当（令和9年度以降刊行予定）  
 委託者 新むつ小川原株式会社

### イ 弘前柏線中崎工区道路改築事業（野脇（1）遺跡）

所在地 弘前市大字中崎地内  
 刊行予定頁数 250頁  
 委託者 青森県県土整備部（道路課）

#### ウ 稲盛千代町山田線道路改築事業（吉田遺跡）

所在地 つがる市森田町下相野吉田地内  
整理頁数 230 頁相当（令和 9 年度以降刊行予定）  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

#### エ 名久井岳公園線道路改築事業（法光寺遺跡）

所在地 三戸郡南部町大字法光寺字法光寺地内  
刊行予定頁数 60 頁  
委託者 青森県県土整備部（道路課）

#### オ 県営三戸地区中山間地域総合整備事業（駒木（2）遺跡）

所在地 三戸郡三戸町大字梅内字駒木地内  
刊行予定頁数 184 頁  
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

#### カ 県営野沢 3 期地区畑地帯総合整備事業（樽沢村元（3）遺跡）

所在地 青森市浪岡大字樽沢字村元地内  
刊行予定頁数 48 頁  
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

### 3 出土品等の保存・再整理

#### （1）保存処理

未処理の出土品については、当センターの保存処理機器により、年間木製品 20 点、金属製品 20 点を処理する計画で、令和 11 年度までに木製品 100 点、金属製品 100 点の保存処理を計画している。これらに付随して、当センター保有機器による X 線透過撮影や赤外線撮影も実施する。

また、保存処理済みで再保存処理が必要な出土品は 870 点以上あり、令和 8 年度は、うち 7 点を文化庁の国庫補助事業を活用した業務委託により再処理する予定である。また、未処理の木製品（川原平（1）遺跡・米山（2）遺跡出土）についても国庫補助を活用し処理を進める予定である。

#### （2）収蔵品の再整理

令和 8 年度は、十和田市内で当センターが実施した発掘調査に係る収蔵品の再整理（台帳作成等）を、国庫補助を活用して実施する予定である。

再整理の成果を公開するイベントを 9 月に十和田市内で実施するとともに、発掘フェア 2026（青森市内で開催）でも公開する予定である。

## 4 発掘調査事業に係る情報発信

### (1) 現地見学会

令和8年度発掘調査現場において、県民等に向けて調査成果を公開し、地域史への理解を深めてもらうとともに、事業の周知を図る。

開催日決定後、当センターホームページ等で周知する。

### (2) 発掘体験・遺跡見学

令和8年度発掘調査現場において、発掘体験及び遺跡見学を実施し、郷土の歴史を学び、埋蔵文化財への興味・関心を深めてもらう。

### (3) 速報展示

発掘調査成果を速報として周知するため、遺跡周辺の公共施設等において、調査期間中を中心に出土品及びパネルで展示を実施する。

### (4) 講師派遣

主に市町村が主催する講座等に講師を派遣し、当該市町村における最新の発掘調査成果等を受講者に分かりやすく伝える。

### (5) あおもり発掘フェア

令和8年度は12月19日(土)・20日(日)に青森市内の県総合社会教育センターで開催予定。

県内で令和8年度に行われた発掘調査の成果報告と、出土品を用いた体験会を実施予定。

### (6) 所内展示

「ミニ常設展」として特定のテーマを設けず縄文時代から平安時代までの珍しい出土品を展示する予定。

## 5 センター収蔵資料の活用

### (1) 主催事業

#### ア 夏休みに考古学者になろう

夏休み期間中の児童・生徒向けのイベント。

令和8年度は研究体験を当センター内で7月下旬～8月中旬に開催予定。

#### イ 公開講座

中学生以上が参加できる当センター職員による公開講座。日曜日に開催する。

令和8年度は6月から11月までの間に3回開催する予定。詳細は5月頃公表予定。

## ウ (仮) 「地元の遺跡」再発見フェア in 十和田市

当センターが発掘調査を行った十和田市内の遺跡について、地元十和田市で公開するためのイベント。

遺跡の写真や出土品を間近に見られる展示や、遺跡に関する講演会、実物の出土品を用いた体験学習会で構成される。

9月5日(土)に十和田市内で開催予定。

## エ 教材「あおもり縄文遺物セット」の貸出

令和4～6年度に重点枠事業で実施した「地元の縄文」再発見プロジェクト事業により制作し、県内市町村教育委員会に配布した、さわれる実物教材「あおもり縄文遺物セット」の活用状況調査及び活用促進を行う。また、県立特別支援学校への貸出を行う。

## (2) 依頼による活用事業

令和8年度も以下のとおり団体見学、依頼に応じた出張展示、出前講座・授業等を実施する予定。

◇所内での出土品展示見学や蔵書閲覧、団体での見学等

事業	概要	期日・期間等	備考
見学等	蔵書閲覧	平日※ 9:00～16:00	無料・事前申込必要 閲覧のみ(貸出・コピー不可)
	所内見学	随時(平日)	無料・事前申込必要 内容、時間をご相談ください。

◇所外での出土品の展示や講座等

事業	概要	期日・期間等	備考
展示	出張展示	随時	事前に場所・内容・期日等をご相談ください。
	連携展示		
講座	出前講座	随時	県の「出前トーク」からお申し込みください。
	出前トーク	随時	
教育支援	学校支援	随時	学校支援は「青森県教育支援プラットフォーム」から申し込みいただき、事前に内容・期間等をご相談ください。
	職場体験・インターシップ	随時(平日)	

## 6 令和8年度主要行事予定

期 日	事 業 名	会 場
6月～11月	公開講座（年3回）	当センター
7月下旬～8月中旬	夏休みに考古学者になろう	詳細未定
9月5日（土）	「地元の遺跡」再発見フェア in 十和田市（仮）	十和田市民文化 センター
12月19日（土）～20日（日）	あおもり発掘フェア 2026	青森県総合社会 教育センター

# 資 料

## 1 図書の受入状況

◇年度別図書受入（冊）（1月31日現在）

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
受入数	1,143	871	846	1,293	1,068

## 2 文化財関係研修等への参加状況

職員の資質・能力向上を目的に行われた研修や会議への職員の派遣状況

### （1）文化財担当者研修（奈良文化財研究所主催）

◇令和7年度の派遣状況

期 間	7月14日～18日
内 容	遺跡地図・GIS課程
受講者	中村 哲也

◇年度毎の派遣状況

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
内 容	受講者 なし	文化財写真課程	①木質文化財の科学的調査基礎課程 ②保存科学（金属製遺物）	①自然科学分析外注課程 ②遺跡調査技術課程 ③保存科学（木質遺物）課程	遺跡地図・GIS課程
受講者		長谷川 大旗	①・②藤田 祐	①・②長谷川 大旗 ③藤田 祐	中村 哲也

### （2）文化庁主催の研修会等

#### ア 埋蔵文化財担当職員等講習会

◇年度別参加状況

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催地	中止	金沢市	和歌山市	山形市	山口県
日 程		8月31日・ 9月1日	1月31日・ 2月1日	9月18日 ～20日	1月28日 ～30日
受講形式		オンライン	オンライン	オンライン	対面
参加者		中村 哲也	藤田 祐	佐藤 智生	長谷川 大旗

## イ 文化財マネジメント職員養成研修会

◇年度別参加状況

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催地	東京都	新潟県	埼玉県	静岡県	宮城県
日 程	2月7日 ～10日	9月26日 ～29日	11月7日 ～10日	10月29日 ～11月1日	10月28日 ～10月31日
受講形式	オンライン	参加なし	参加なし	参加なし	参加なし
参加者	岡本 洋				

## (3) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会に関連する会議・研修会

◇令和7年度の参加状況

名 称	開催日	場 所	内容等	参加者
総 会	令和7年 5月29日・30日	ホテルモナ ーク鳥取ほ か	総会 記念講演・特別講演 視察見学	所長 小舘 孝浩
第37回 研修会	令和7年 10月23日・24日	平和市民公 園能楽堂ほ か	基調講演・事例報告 視察見学	調査第一G 総括主幹 中村 哲也
北海道・ 東北地区 ブロック 会 議	令和7年 10月30日・31日	札幌市埋蔵 文化財セン ターほか	会議 施設見学 視察見学	総務G 主査 吉田 和也 調査第一G 文化財保護主幹 荒谷 伸郎

◇過年度の参加実績

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
総 会	日 程	書面開催 6月9日・10日	6月8日・9日	5月30日・31日	5月29日・30日	
	開催地		那覇市	鹿児島市	盛岡市	鳥取市
	参加者		和田 和男	渡部 泰雄	渡部 泰雄	小舘 孝浩
研修会	日 程	資料配布 10月20日・21日	10月19日・20日	10月19日・20日	10月23日・24日	
	開催地		札幌市	高松市	北杜市	大分市
	参加者		工藤 忍	藤原 有希	茅野 嘉雄	中村 哲也
北海道・ 東北地区 ブロック 会 議	日 程	書面開催 10月7日	11月16日・17日	11月14日・15日	10月30日・31日	
	開催地		釧路市	八戸市	多賀城市	札幌市
	参加者		油布 恵美 野村 信生	佐藤 真理 野村 信生	佐藤 和佳子 伊藤 由美子	吉田 和也 荒谷 伸郎

#### (4) 青森県文化財保護課主催の研修会

◇令和7年度の参加状況

	第1回	第2回
開催場所	当センター	青森県庁（オンライン）
開催日	7月3日	2月13日
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財保護行政の概要（文化財保護課）</li> <li>・埋蔵文化財事務手続の基礎（文化財保護課）</li> <li>・埋蔵文化財事務手続の応用（文化財保護課）</li> <li>・出土品の保存処理研修（当センター）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財保護行政の現状と課題（文化庁）</li> <li>・埋蔵文化財の把握と周知における現状と課題（文化庁）</li> <li>・埋蔵文化財の把握と周知における八戸市の取組（八戸市教育委員会）</li> <li>・埋蔵文化財の把握と周知における青森県の現状と課題（文化財保護課）</li> <li>・令和7年度埋蔵文化財・史跡担当者会議の概要について（文化財保護課）</li> </ul>
参加者数※	2人	13人

※当センターの参加者数

◇過年度の参加実績

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催場所	青森県庁（オンライン）	第1回：七戸町 第2回：青森県総合社会教育センター	第1回：当センター 第2回：青森県庁（オンライン）	第1回：つがる市 第2回：青森県庁（オンライン）	第1回：当センター 第2回：青森県庁（オンライン）
開催日	12月22日	第1回：8月31日 第2回：12月15日	第1回：8月31日 第2回：12月15日	第1回：8月26日 第2回：2月7日	第1回：7月3日 第2回：2月13日
参加者数※		第1回：2人 第2回：15人	第1回：7人 第2回：19人	第1回：7人 第2回：19人	第1回：2人 第2回：13人

※当センターの参加者数

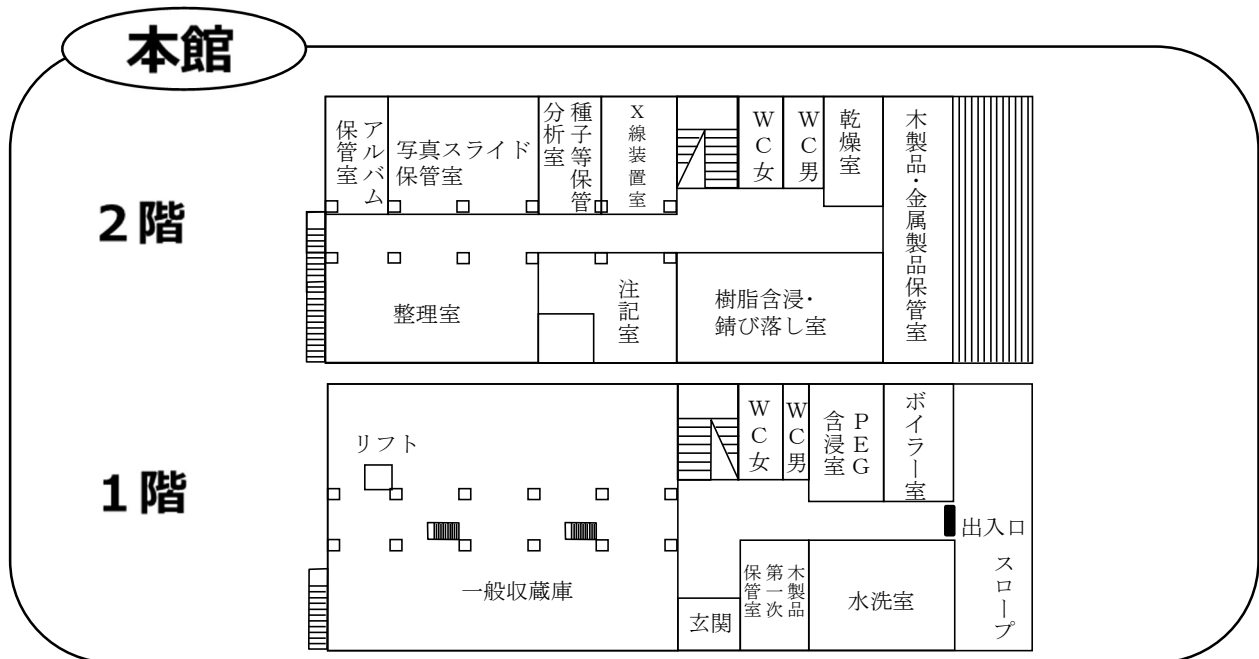
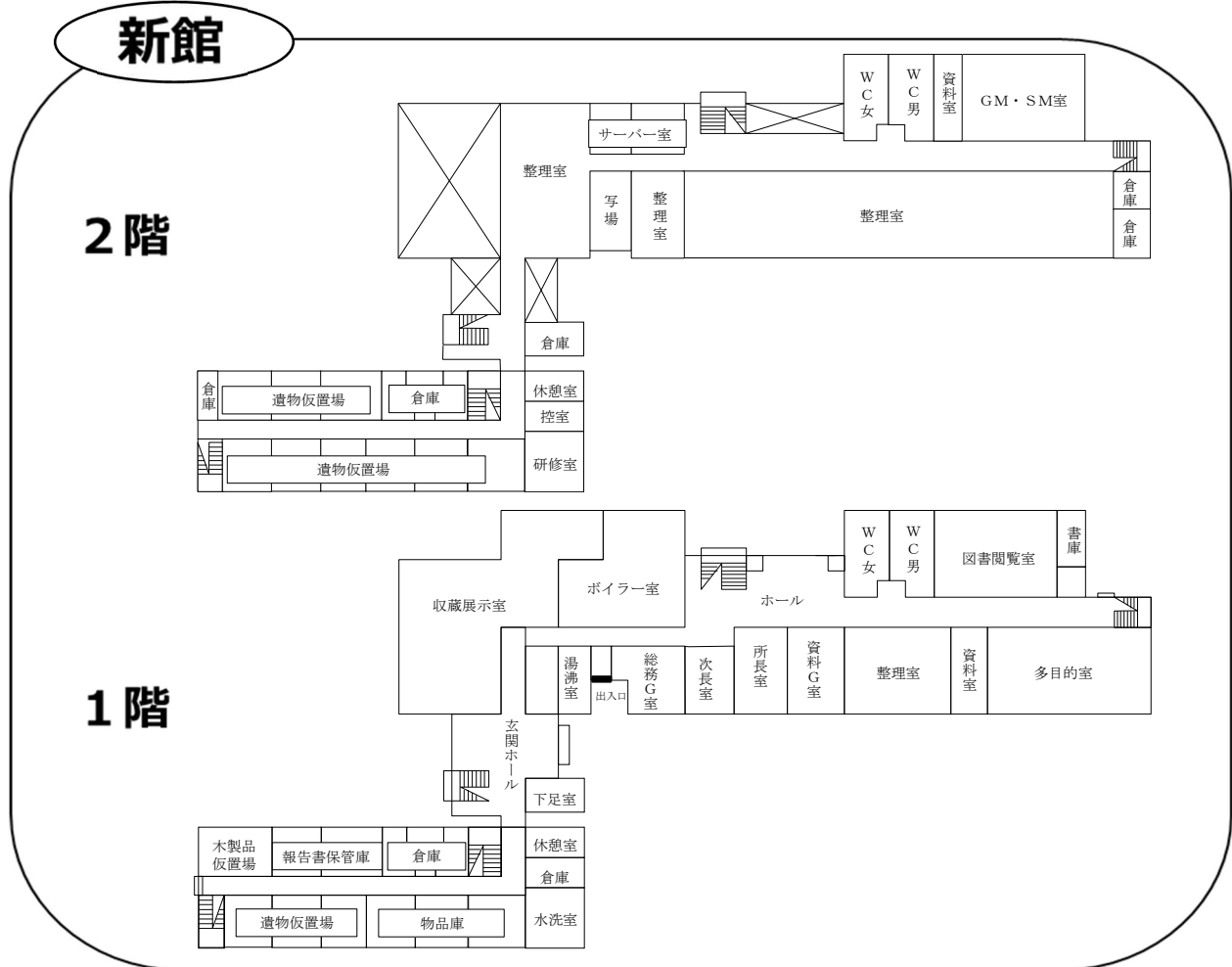
# 沿 革

昭和 55 年 (1980)	4 月 1 日	青森県埋蔵文化財調査センター設置 本館完成まで教育庁文化課（現文化財保護課）埋蔵文化財整理室使用
	7 月 1 日	青森県埋蔵文化財調査センター開所 本館完成により教育庁文化課埋蔵文化財整理室から移転
昭和 57 年 (1982)	1 月 18 日	「埋文あおもり」第 1 号発行（～平成 7 年第 14 号）
	12 月 6 日	東北初の弥生期水田跡の立証と研究の功績により「垂柳遺跡調査会（当センター・県教委文化課・県立郷土館）」が東奥賞受賞
平成 2 年 (1990)	3 月 16 日	八戸市葦窪遺跡（1982 年調査）出土の「狩猟文土器」1 点が県重宝に指定
	3 月 23・24 日	第 1 回埋蔵文化財調査報告会（現「あおもり発掘フェア」）開催
平成 5 年 (1993)	7 月	松原分室設置（三内丸山遺跡出土品管理作業に対応）
平成 6 年 (1994)	12 月 3 日	三内丸山遺跡の発掘・研究と積極公開の功績により東奥賞受賞
平成 7 年 (1995)	4 月 1 日	教育庁文化課内に三内丸山遺跡対策室が設置され、三内丸山遺跡発掘調査及び出土品整理等を引き継ぐ
	6 月 15 日	六ヶ所村大石平遺跡（1984 年調査）出土品 198 点が国重要文化財に指定
平成 8 年 (1996)	3 月 29 日	「研究紀要」第 1 号発行
平成 10 年 (1998)	7 月 22 日	旧情報処理教育センターを一部改修し、当センター新館とし主要機能を移転、木製品・鉄製品の保存処理のための機器及び軟 X 線透過装置導入、遺物の収蔵展示等の設備拡充を図る
平成 14 年 (2002)	8 月 8・9 日	第 1 回「夏休みに考古学者になろう」開催
平成 15 年 (2003)	4 月 14 日	六ヶ所村表館（1）遺跡（1987 年調査）出土の「細隆起線文尖底深鉢形土器」1 点が県重宝に指定
平成 25 年 (2013)	4 月 17 日	七戸町二ツ森貝塚（1967 年調査）出土の「鹿角製櫛（ろっかくせいくし）」と青森市近野遺跡（2003 年調査）出土の「人物線刻石冠（せっかん）」の 2 点が県重宝に指定

令和元年 (2019)	6月 1日	津軽ダム建設に伴う西目屋村域の調査成果（「白神山地東麓縄文遺跡群」）が、国内の5か所（東京都・岩手県・青森県・愛知県・福岡県）で展示される（「発掘された日本列島 2019」主催：文化庁）（～1月18日）
	6月27日	新館長寿命化改修工事終了
令和2年 (2020)	10月12日	本館長寿命化改修工事終了
令和4年 (2022)	1月18日	収蔵庫（体育館）長寿命化改修工事終了
	4月	「地元の縄文」再発見プロジェクト事業実施（～令和6年度）
	6月11日	七戸町猪ノ鼻（1）遺跡の調査成果が、国内の5か所（埼玉県・北海道・宮城県・宮崎県・奈良県）で展示される（「発掘された日本列島 2022」主催：文化庁）（～2月12日）
令和5年 (2023)	3月	X線透過装置等、保存処理機器を更新
	12月9・10日	埋蔵文化財調査報告会の内容を見直し、あおもり発掘フェアに名称変更
令和7年 (2025)	6月	埋蔵文化財保存環境改善事業により、一般収蔵庫及び体育館収蔵庫内の燻蒸を実施するとともに、除湿器等を設置（～12月）

# 施設概要

## 平面図



## 案内図



## 配置図



# 令和8年度 青森県埋蔵文化財調査センター 要 覧

令和8年4月16日発行  
編集・発行 青森県埋蔵文化財調査センター  
〒038-0042  
青森市新城字天田内 152-15  
電話 017-788-5701